

バイオマス関係長野視察研修報告書

平成 28 年 3 月 28 日 (月)

報告者 保坂 芳子

- 1、研修日 平成 28 年 2 月 8 日 (火) ～2 月 9 日 (水)
- 2、場所 長野市役所
松代まち歩きセンター
いいつな お山の発電所
- 3、目的 長野市バイオマス発電状況
地域福祉・ボランティア活動の推進と町づくり
- 4、参加議員 保坂芳子・金丸幸司 (颯新クラブ 3 名と合同)
- 5、内容 8 日 ① 長野市役所で長野市環境政策課地球温暖化対策室
の職員の方から説明を受けた。
② 善光寺・パティオ大門蔵楽亭視察
- 9 日 ③ 松代まち歩きセンターで説明を受ける。
その後案内してもらい説明を受けながら町を歩く。
松代支所で説明を受ける。
④ 長野森林資源利用事業協同組合視察研修

以上です

長野市におけるバイオマス利活用について

横地 克己 長野市議会事務局 議事調査課 課長

宮坂 真也 長野市議会事務局 議事調査課 主査

新井 雄太郎 長野市環境部 環境政策課 地球温暖化対策室 係長

長野市役所で3名より長野市バイオマスタウン構想等について説明を受ける。

長野市は平成22年3月にバイオマスタウン構想を策定し、資源利活用に取り組んでいる。平成23年3月に長野市バイオマスタウン構想推進協議会を発足させ32団体が参加している。その中に木質バイオマス利活用部会が設置され22団体で構成されている。木質バイオマスの主な研究課題は木質ペレットの利用拡大であり、もう一つは木質発電である。これについては 今回いつな お山発電所を見学することになっている。

長野市は土地面積の60%が山林であり、間伐材・林地残材等の未利用バイオマス資源が多量。賦存量38,875tのうち利用量は4,308tでありまだまだ利用できる。

長野市では連携中枢都市圏構想を考えており、今年度中に近隣市町村との連携ビジョンを公表する予定。それにより国からの財政支援を受けたい。甲斐市は今年度国からバイオマス産業都市に認定されたが、長野市は28年度に認定されるように今準備中だ。

地域木質バイオマスの利用や耕作放棄地等の資源作物活用調査・剪定枝葉バイオエタノール事業推進と期待されるメニューが豊富だ。5年先どのようなバイオマスタウンになっているのかまた訪ねたい。

松代まち歩きセンター 研修

講師 重田 松代ボランティアセンター

安藤 松代かがやき広場

三田今朝光 NPO法人 夢空間 松代のまちと心を育てる会

松代のボランティア団体の方や社協の方から町の福祉活動の研修を受け、街並みの散策を行った。「住民主体」のまち作りの様子がよくわかり、参考になるところが多かった。

「いづな^いお山の発電所」見学

木質バイオマス発電施設の見学だったが、あいにく見学の説明中に雪が降ってきて工場内の見学が出来なかった。

ポイントとしてグループ内 p p s 事業者をつうじてエネルギーの地産地消に貢献。原料調達から売買電まで組合ですべてマネジメント。地元事業者に利益還元し雇用維持・創出に貢献。既存の木材流通と調和し未利用材を有効活用。があげられる。